

タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD () ミニストリー

インディードゥアイガン Yindii Duaygan

YDは、タイ語で「ともに喜びため」を意味する単語の頭文字です

ニュースレター# 1 2017年 春号

…so that may be glad together. (John 3/8ネ 4:36)



2012年5月に初めてその必要を知らされました、タイ王国第2の都市チェンマイ唯一の日本語教会後任牧師の働き…。この働きをもって、このたび、長く私自身の祈りの中にもあり続けた宣教地タイへ、日本同盟基督教団委託派遣宣教師として遣わされることとなりました。



<チェンマイ日本語キリスト教会について>

チェンマイ日本語キリスト教会は、貧しさや、再起の途上にあるタイの人々のためのボランティア、様々なご事情からタイで生活されている年金生活者の方々、ある季節だけチェンマイに滞在される方々の割合が高い、10名ほどの小さな群れです。そのため、現状では、独自で牧師を招聘する経済力がありません。

5月18日

合意書が締結されました

それでも、日本語教会に集う人々は、タイの地に住み、タイの人々と生きる、「福音のために散らされた人々」、「タイの地に蒔かれ続けている種」です。彼らのミニストリーの広がり、そのままアジア宣教の広がりにつながっています。再起や自立を目指すタイの人々、刑務所伝道、山岳民族伝道、学生伝道、児童伝道・・・教会に集う人々や、現地の働き人たちとの協力を通して、すでに、多くの宣教の門が開かれています。彼らにみことばを語り続ける羊飼いが、これからも必要です。

<どうか、ご支援ください>

私は、不思議な形で知らされたチェンマイ日本語キリスト教会の必要と、この教会からの招聘を主からの召しと信じ、踏み出したく願います。しかし、今回の派遣は、未自給の日本語教会への委託派遣(招聘側が経済的責任を持つ)という、教団のディアスポラ宣教においても新たなチャレンジです。志を同じくし、このミニストリーを祈り支えてくださる方々を切実に必要としております。

4月末より、ひとりの失われた人が見つけ出されるときに天で湧きおこる喜びをともにし、アジア宣教の拠点でもあるチェンマイでのディアスポラ宣教にご参加くださる支援者、支援教会を求めて、宣教報告をスタートいたしました。大変感謝なことに、この地に後続の羊飼いを…との、皆さまからの力強いお祈りとご支援をいただき、早くも、初年度の必要経費300万円(デブテーション費用、語学研修費含)のうち、出発前に目標としておりました200万円が備えられました。心より感謝申し上げます。秋には出発させていただく予定ですので、限られた期間ではありますが、どうぞ、主が召し出し、開いてくださったチェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教について分かち合わせてください。

<祈禱課題>

・主からの召しにふさわしい靈性と品性の成長が与えられ、祝福を携えたデブテーションを成すことができますように。特に、各宣教区訪問中の祈禱会においても、用いていただけますように

・祈りのうちに立ち上げていただきました支援会が、参与してくださる方々と、タイ王国チェンマイにおける主からの恵みと喜びを分かち合うものとなりますように

・デブテーションと初動のための必要(初年度300万円)が満たされますように。その後も継続して祈りご支援くださる方が増し加えられ、チェンマイでの牧会と宣教を継続することができますように

<支援献金窓口>

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230

支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com

電話 Fax 055-989-7802

HP <http://www.yd-ministry.christian.jp/> (間もなく開設いたします)

日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886

(※長谷部愛実への指定献金のみ、ミニストリーに献げられます。)



教会メンバーが祈りつつ仕えておられるタイの方々と